

やってきたこと! やりたいこと!

就学前児童に対して



出産に際しては、妊婦健診の助成拡大を図ってまいりましたが、幼稚園・保育園など幼児教育の分野において問題は残っています。例えば、区立幼稚園の廃止後、保育園や認定こども園への移行の問題と共に、併行の保育園の入所基準も見直しをしなければならぬなどの問題があります。

本来は、子どもの発達に応じた教育が望ましいですが、景気悪化による共働きが進むと併に、専業主婦や自営業などが保育園への入所が難しくなっている現状も見逃せません。目黒区だけでは解決が難しい部分も多いですが、制度の見直しが必要です。

- ✓ 妊婦健診2回→14回に拡充
- ✓ 出産一時金受任払い
- ✓ 5才児課料フック乗算布

子ども施策に対して



公教育の充実が必要不可欠です。景気が悪い中であっても、目黒区では中学受験が盛んになっており、公教育の質はありますが、すでに様々な教育施策が展開されています。学習指導要領が変わる今こそ教育委員会に指導力を発揮していただき、保護者・地域はそのバックアップをしていかなければなりません。同時に健全な集団生活や運動に取り組めるように指導者や施設等の充実をはかる事が肝要であり、学力向上と同時に力強く生きていく備えをしなければならぬと考えます。

- ✓ 私立幼稚園入園料補助を増額
- ✓ めぐる子ども見守りメール導入
- ✓ 保育園の入所人員の拡大
- ✓ 生活習慣プログラムと健康観察改善等専門員配置
- ✓ 中学校部活動支援

現役世代に対して



経済対策や社会保険全般においては国策として展開して行く事が第一ですが、地方の役割として、失業者への再雇用への支援、女性の再雇用支援などを推進すると同時に、税負担をしている世代への健康維持や、検診などを充実し健康維持をはかっていく施策が必要となります。

このように現役世代を支援し、「住み続けられる目黒」を推進することが地域全体を支える礎となり、持続性ある目黒の様々な施策を展開できることから、これらを連携してゆける施策の展開を推進する必要性が急務であると考えます。

- ✓ 目黒消防団・区内小中学校・幼稚園・生活安全パトロール車・区内商店街へAED配備
- ✓ 目黒川環境改善実験導入
- ✓ 65才・65才歳科検診拡大

高齢者世代に対して



元気な高齢者でいたいという思いは誰しも同じです。より効果的で参加しやすく、何より楽しいということが介護予防事業の継続・持続の条件となります。介護予防事業をしっかりと拡充しながら、さらに「まち」での連携や協力がなされ心豊かな地域社会の形成が必要であると共に、区内の活動団体の協力をいただくことが、さらに重要なポイントとなってくると考えます。

- ✓ 各種がん検診(肝・大腸・子宮・前立腺)陽がんハイリスク検診
- ✓ 実情にあった介護予防事業
- ✓ 地域包括支援センター土曜日開設
- ✓ 高齢者健康ショートステイ事業

編集後記



自民党が下野し政権交代から一年半、様々な出来事がありました。目黒区の前を審議する議員の一人として、また一区民として平成22年度の国家予算は異常です。9.2兆円の予算に対し税収が半分にも満たない状況で、子ども手当は8才未満2万円で中学校卒業までの児童に対して1万8千円の支給に対し地方負担が目黒区ではおおよそ5億円余の一般財源を拠出せねばならない状況です。本来であれば、総合的な子育てや教育への施策へ振り向けていきたい財源であると政治の最前線にいる一人として不安が募ります。国の長期債務残高884兆円余で一世帯あたり1,820万円。国民が冷静に考え、行動していかなければなりません。

さあ一緒に元気な目黒をつくりましょう。

▲普天間飛行場にて

議会活動総集編

目黒区議会議員

いその 弘三の いそのめぐろ弘報

■発行/いその弘三事務所 ■153-0051目黒区上目黒3-21-23-205
■TEL 03 (6726) 1888 FAX 03 (6726) 1860 ■発行2011年2月



一緒に
元気な目黒を
つくりましょう

いその 弘三 (44才)

いその弘三

共感力と共汗力

そして実行力をもって

- ①産+官+学+民連携による政策提言
- ②公教育における学力と体力の向上の取組み
- ③目黒の実情に合った高齢者福祉政策を推進
- ④公益的活動団体との協働推進
- ⑤住民発意によるまちづくり



QRコード: いそのkousoon-kaikaku日記へ

日頃のご支援ありがとうございます。2期8年の間、常任・特別委員会等を経験させていただき今期は区の根幹をなす基本計画等にたずさわる企画総務委員長を任命されました。3期目にあたり、本号は2期8年の議会活動総集編として位置づけご報告をさせていただきます。

パパの挑戦進行中!!
それぞれの思い
それぞれのカタチで
明日の目黒のためにいっしょにできること

プロフィール

- 昭和41年11月 東京都目黒区大岡山に生まれる。
- 大岡山私立「みどり幼稚園」入園
- 目黒区立大岡山小学校卒業
- 目黒区立第八中学校卒業
- 私立日本学園高等学校卒業
(硬式野球部にて西東京大会第一シード校のエース)
- 富士重工業(株)にて硬式野球部(実業団野球部)入団、実家である地質調査・さく井業勤務、その後、総合ビル管理会社の環境管理室勤務
- 平成15年目黒区議会議員初当選
- 平成19年目黒区議会議員二期目当選
- 目黒西リトル・シニアリーグ現 会長

目次

22年第3回定例議会	2
21年第1回定例議会	2
19年第1回定例議会	3
18年第2回定例議会	3
議会歴・議会選出委員歴	3
世代別具体的施策と推進状況	4
やってきたこと! やりたいこと!	4



夢(政策)を形(実現)に変えるには議会や委員会の質問から区長・教育長の答弁を引き出します!! 2期8年の一般質問の一部をお伝えします。

■議会改革を進め、住民意思のさらなる反映をめざせ!

＜議会改革に対する考え方＞目黒区は行政改革の取り組みのひとつとして、平成16年度から20年度までに、職員定数適正化計画で累計282名の職員削減を行ってきた。(1)議会の政策立案能力の向上策として、議会から法務担当の強化を求められたとき、どのように考えるか。(2)区議会事務局人員強化という課題について、区長はどのような見解を持っているか。(3)区議会事務局の人事権は、本来議長にある。二元代表制の中で、議会側議員の機能強化とともに、人事に関し原則に添った形で遂行することが、本来のあり方ではないか。

区長 (1)地方分権改革の進展等に伴い、条例を自主的に定める範囲が広がるなど地方公共団体の責任領域が拡大し、議会機能の充実・強化が求められている。法務担当の強化の要請があれば、必要な検討を行っていく。(2)議会の人員強化については、区の厳しい財政状況を踏まえ、有効な方策を検討していく。(3)人事権は任命権者である議長にあるが、原則に従うことは組織規模などの実情から慎重に検討すべきである。議会の人事の要請には留意して対応していく。

＜特別養護老人ホームの看護師配置＞深夜・夜間の看護師配置は財政的・人的に困難との見解だが、ホットライン化して、夜間・深夜看護師が必要に感じ3か所の特別養護老人ホームを移動できる方法を模索できないか。

区長 各ホームを移動しながらの連携は、夜間帯勤務の看護師の負担増など課題が多く、今後の研究課題とする。

＜介護予防の進め方＞(1)国の方針に関わらず、目黒区として「介護予防事業をどのように進めていくのか」という理念を問う。(2)介護予防事業を広く周知せよ。(3)介護予防事業をより効果的・効率的に推進するために、地域との協働・パートナーシップの関係をどのように構築していくのか。(4)最近の区の介護予防事業に、戦略が見えないのはどうしてか。

区長 (1)高齢者の活動への意欲、いきがいにつながる介護予防を目指すべく、区としての理念を持って取り組むとともに、平成23年度に予定の保健医療福祉計画・介護保険事業計画改定に反映させていく。(2)事業対象が高齢者のため、主に区報をはじめ紙媒体でPRを行っている。ホームページの活用も工夫する。(3)介護予防事業では、目黒区歯科医師会、公衆浴場組合をはじめ地域団体、NPO団体との協働で教室を展開している。地域づくりの観点から、今後もパートナーシップを重視して関係強化に努めていく。(4)事業開始時の「戦略」とは異なるが、要介護状態になる可能性の高い高齢者の掘り起こしなどの課題に取り組んでいく。

22年第3回定例会

21年第1回定例会

■生活支援、経済対策の視点から 区民福祉の向上を目指せ

＜暮らしサポート21＞(1)緊急経済等対策の視点から産業の観点を行い、平成21年度の早期に再度予算の編成を行う必要はないか。(2)自治体の財源が厳しくなる中、将来の責任ある産業の展開について何う。

区長 (1)当初予算の緊急経済対策の効果などを見極めながら、追加的対策の時期・方法など判断する。(2)行財政改革を徹底し、基金の活用等慎重に判断して区政運営の舵取りを行っていく。

＜保育＞(1)求職中の保育ニーズが高まる中、入所選考基準厳格を見直す必要はないか。(2)厚生労働省の保育園入所に係る事務制度改革方針について、どう考えるか。(3)児童福祉法改正に伴い、保育ママ制度を拡充せよ。

区長 (1)求職中の対応は、保育制度の中で検討する。(2)改革案の実現には、数千億円の財源が必要とされる。社会保障審議会の検討状況等を注視していく。(3)保育ママ制度を利用して、事業所等に保育室を設置できる誘導策等を検討していく。

＜裁判員への支援＞障害のある方、居宅介護に従事する方、乳幼児のいる方が裁判員に選任された場合、区はどのように支援するか。

区長 移動支援や緊急一時保育など利用して、さまざまな事情を抱えた方が少しでも参加しやすい環境の整備を多面的に検討する。

＜校庭の人工芝化＞財政状況等考慮すると、人工芝化は必ずしも優先度が高いとはいえないがどうか。

教育長 天然芝やグランドカバーと長所短所を比較した上で人工芝が適切と考え、今後も推進していく。

19年第1回定例会

■事務処理効率化と区民利便性向上と 保育園の方向性と住民活動支援を

質問 最近の市場取引で現金決済のほか、クレジットカードや電子マネーといった現金を使用しない方法が急速に普及している。17年第2回定例会で質問したが、区民の利便性や納付方法の選択肢を広げること、行政の事務量の軽減等の点で、その後区ではカードによる収納と支出についてどのように検討、調査したか。

区長 クレジットカード利用の現金決済について調査研究を行った。区民にとって手間なく納付できる利点のある一方、区にとってカード手数料等収納コスト増加が見込まれるため、他の収納方法を含め、区民ニーズ及び費用対効果の観点からさらに検討を重ねる。

質問 すでに港、江東区で実施しているように、多様化する保育ニーズに対応するため、区内でマンション建設を行う事業者と事前に調査、協力し、効率的に認定保育所の設置を計画すべきではないか。未達の転入者が多い傾向から、将来の方向性を見通して対応せよ。

区長 集合住宅の建設予定など情報を収集し、地域の保育需要と合わせてマンションプラス保育園の制度化の研究を行う。目黒区住宅マスタープランで「子育て向き」住宅の認定制度の検討も掲げており、効果的な施設配置・活用や居住水準の確保等も含め、安心して子育てできる環境整備に努めていく。

質問 目黒の債務は23区でもトップクラスで、区財政は氷河期に突入しようとしているが、町会を初めとした地域活動は相変わらず元気である。地域活動への助成や協働関係の構築等、パートナーとしての地域活動団体への支援をどのように考えているか。

区長 町会・自治会は地域に根ざした活動で、区政に多大な貢献をし、地域コミュニティ形成の重要なパートナーである。山積する区政の諸課題の解決のために、任意団体としての自主性等を尊重しつつ、支援のあり方を研究する。

18年第2回定例会

■新たな予算編成手法で課題解決と 実体にあった介護予防施策を望む

■公共分野での カード決済における行革と利便性

■区長公約と行政における仕組みづくりについて

■防犯対策と商店街振興策の拡充について

■子どもたちの水と安全な教育環境整備を



議会歴・議会選出委員歴

平成15年目黒区議会議員初当選
平成19年目黒区議会議員二期目当選
現企画総務委員長
(王貞治名誉区民憲章に委員長として携わる)
生活福祉委員長・文教委員長・
都市環境副委員長を歴任
自民党目黒総支部 広報委員長
自民党目黒区議団では、
副幹事長・政務調査会長を歴任

- ・都市計画審議会委員
- ・生涯学習推進協議会委員
- ・青少年問題協議会委員
- ・まちづくり基金運用委員会委員
- ・民生委員推薦会委員
- ・地域保健協議会委員
- ・共同基金目黒地区協力会委員
- ・地域福祉協議会委員
- ・防災会議委員
- ・国民保護協議会委員
- ・東京河川改修促進連盟委員
- ・目黒区社会福祉協議会参与
- ・目黒区社会福祉協議会参与
- ・目黒区体育協会参与
- ・目黒区住宅
- ・街づくりセンター評議員
など歴任

22年10月に発表された
区民共同協定案に当たり
「まちづくりプロジェクトチーム」
の旗本としてチームを主導し、
下記の基本計画をとりまとめた。

誰もが安全で快適に
過ごせる社会の実現

コミュニティ
経済
環境
エネルギー
公共

目黒区目黒区民
まちづくり基本計画

